

1. 管理運営業務の基本方針について

- (1). 重点項目
- (2). 数値目標

1. 施設の管理運営に対する基本的考え方

地区センターが「地域住民の自主的な活動」及び「相互交流を深める」場として有効的に活用されること、すなわち「地域における連帯感」「相互扶助の機能」「高齢者や子育て家族に対する支援」「環境保全」「防災・防犯」などの住民生活に直結するさまざまな課題を、住民が主体となって解決する地域コミュニティの場として位置づけ活性化してゆきます。

区政方針である『地域の知恵と力を生かした防犯力・防災力・安全力の向上』『こどもが健やかに育つ環境づくり』『高齢者・障害者などの要援護者サービスの充実』『地域資源と市民の力による地域の活性化』『行政・区民によるまちの美化・環境対策の推進』、そのような『安全なまち 安心な暮らし 元気な中区』を区民と協働で創出し、地域住民と行政、清光社の3者連携体制を軸とした管理運営を実施します。

(1). 重点項目

ア. 「地域住民の自主的な活動」をサポートします。

既存の地域コミュニティを含めた地域住民の自主的な活動が、発展向上するようなサポート体制を構築すると同時に、中区の課題やニーズに取り組む新たな地域コミュニティを創出します。また、中区だけではなく、弊社の指定管理施設や連携施設を有効に利用し、幅広く展開するためのサポートや連携団体との協力により、アウトリーチ活動を積極的に実施します。

イ. 誰もが立ち寄れる「ぷらっとホーム」を目指します。

乳幼児から高齢者の方まで気軽に立ち寄り、「出会い」「生きがい」が生まれ、利用者の方の経験や知識が有用に生きるような相互交流の場の創出を心がけます。

ウ. 区民の方と協働で「安全なまち 安心な暮らし 元気な中区」を実現します。

行政機関と連携した幅広い職務知識の習得を行うことにより、区政方針・区の施策を反映した事業展開を行い、地域住民と一緒に、防災・防犯等をはじめとする地域の課題を解決します。また、地域住民からの要望や課題を行政機関や周辺施設と連携することにより、新たな中区の課題を提示し、迅速な課題解決を行います。

(2). 数値目標

管理費削減目標を前年度6%減とし、事業内容の拡大を行い、独創性のあるサービスを展開していきます。

2. 組織体制

- (1). 運営管理に必要な組織、人員体制
- (2). 個人情報保護等の体制と研修計画
- (3). 緊急時の体制と対応計画

2. 組織体制**(1). 運営管理に必要な組織、人員体制**

- ア. 館長 1 名、主任 2 名の常勤者を配置し、コミュニティスタッフとして、美化スタッフを含めた 14 名を採用します。
- イ. スタッフは半月ごとの交代勤務とし、午前・午後・夜間の区分ごとに 2 名を配置します。交代時には、スタッフが引き継ぎ業務を実施するために、重複して配置いたします。常勤職員については、各時間帯に最低でも 1 名を配置し、館の円滑な運営管理を実施します。

(2). 個人情報保護等の体制と研修計画

「個人情報取扱事業者」として、「個人情報保護マネジメントシステム」の活用により、地区センター運営および自主事業における個人情報の保護を徹底することを基本方針とします。

ア. 法律・条例に則った個人情報保護の徹底

「個人情報取扱事業者」として「個人情報保護に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。また、守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。

イ. 本牧地区センター個人情報取扱マニュアルの作成・活用

「個人情報保護マネジメントシステム」より「本牧地区センター個人情報取扱マニュアル」を作成し、職員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底します。

ウ. 個人情報保護管理における責任者の設置と取扱体制の構築

館長を個人情報保護責任者とした上で、取扱担当者を決定し、個人情報の保管期間、保管方法、および消去方法等の措置について、館長から取扱担当者に指示します。また、統括担当者による抜き打ちチェックを実施し、管理の徹底を図ります。

エ. 職員研修及びミーティングを休館日に実施します。

教育プログラムに基づく社内外講習・資格取得・多様な施設間交流講習・効果測定を実施します。(接遇研修・個人情報保護管理研修・指定管理講習会・人権研修・他施設研修等)

(3). 緊急時の体制と対応計画**ア. 事故、災害時の危機管理対策の基本的な考え方**

利用者様の安全確保を最優先とし、訓練・研修により職員の危機対応能力を高めるとともに、事前および事後の対策を強化することにより、不測の事態への備えを強化します。さらに、利用者様への被害を回避する観点から、建築物の日常点検や早期修繕の徹底を図ることを基本的な考え方とします。

イ. 利用者安全の最優先

事故・災害時等においては、利用者の避難、誘導、安全確保を第一とし、『横浜市防災計画（震災対策・風水害対策・都市災害対策）』『国民保護計画』および『災害時等における施設利用の協力に関する協定』『横浜市指定管理者ガイドライン』、『中区防災計画』『指定管理者災害対応の手引き』を全職員が十分に把握し、行動します。

ウ. 職員の危機対応能力向上および事前・事後の対策強化

「本牧地区センター危機管理マニュアル」を作成し、研修により周知・徹底を図り、防災訓練・事故対応訓練等を強化することによりマニュアルの見直しや改善の継続を行い、危機管理能力を更に高めます。

エ. 緊急、災害時等の施設破損等を最小限に抑える施設管理

災害時等において、建築物の損傷による利用者への被害を避けるとともに、人命救助などの地域支援活動に支障をきたさないよう、建築物の日常点検、早期修繕及び予防保全の徹底を図ります。

オ. 災害時等における対応策**(ア) 初動対応**

利用者様の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市様及び中区様への連絡、災害時のレベルに準拠した運営委員および勤務時間外職員の参集を行い、救援活動拠点機能を維持します。

(イ) 二次災害の防止

建物・構築物および樹木の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。

3. 施設の運営計画

- (1). 地域との連携に関する計画について
- (2). 広報及び利用促進策について
- (3). 利用料金の設定について
- (4). 利用者ニーズの把握と運営への反映方法
- (5). ニーズ対応費の使途について
- (6). 個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- (7). その他利用者サービス向上の取り組みについて

3. 施設の運営計画**(1). 地域との連携に関する計画について**

地区センターの設置理念を反映した本牧地区センター管理運営方針に基づき、運營業務を実施するとともに、「地域力」推進事業を実施し、地域の持つポテンシャルや住民の方々の力によって、地域問題を解決できる地域コミュニティの創出を目指します。また、地区センターの機能及び利用者の利便性を向上させるイベントやサービスを、障害者通所施設や図書館と協働で実施することにより、地区センターの利用促進及び地域課題の解決を行います。

その他、「できることから始めよう」を合言葉に、地区センターから社会貢献活動の発信、アウトリーチ活動の実施により、地域交流を深めます。

(2). 広報及び利用促進策について

広報活動は「広報区版」を基本に、「タウンニュース」「区役所での広報」等のほか、地区センターだより及びデジタルインフォメーションを取り入れ、双方向に渡り、情報が行き渡るように展開活動を行います。

利用促進策については、的確な利用者ニーズの把握を行い、入念な実施計画を作成・実施することで、稼働率の向上及び個人利用増加を促します。また、利用者の要望を検討した結果、施設の構造上の問題や設置趣旨を考慮し、実施不可能と判断された場合には、代替サービスを実施し、利用促進につなげます。

(3). 利用料金の設定について

会議室等の利用料金は現行の料金設定を維持しますが、平成 22 年度及び平成 23 年度の稼働率を検証し、利用料金の値下げを検討いたします。

自主事業の参加料金におきましては、材料費や講師料等のバランスを考慮して、参加しやすい料金設定を行います。また、幼児や小中学生等を対象とした事業の参加費に関しては、できるだけ参加費を徴収しない方向で設定し、利用機会の拡充を図ります。

利用料金設定

室名	1 コマ 時間数	利用料金		定員
			日曜・祝日の午後②	
小会議室	3 時間	510 円	340 円	18 名
中会議室	3 時間	960 円	640 円	48 名
工芸室	3 時間	480 円	320 円	18 名
音楽室	3 時間	1,650 円	1,100 円	60 名
料理室	2 時間	640 円	640 円	24 名
和室	3 時間	1,140 円	760 円	36 名
和室 (分割利用)		570 円	380 円	
体育室 (全面)	3 時間	1,830 円		
体育室 (2/3 面)		1,200 円		
体育室 (1/3 面)		600 円		

(4). 利用者ニーズの把握と運営への反映方法

利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くの要望を受け取る体制を構築するとともに、収集した情報を分析・評価・検討することにより、あらゆる角度から実現の可能性を模索し、実施する体制を構築いたします。

ア. 地域・利用者ニーズの把握

地区センターアンケート・ホームページのお問合せ・「生の声」・定期的な座談会・横浜市市民の声・市及び区の施策、統計・利用者会議・地区センター運営会議等、様々なものからニーズを把握いたします。

イ. ニーズへの対応

地区センターにおいて実施計画を策定し、区と十分な協議を重ね、地区センター運営会議及び利用者会議に諮ります。賛同が得られたものについては、実施計画を基本にニーズへの対応を迅速に実施します。賛同が得られなかったものについては、代替案を策定し、再度、ニーズへの対応を図ります。

実施不可能な案件に関しては、実施できない背景とその意義を地区センター内に掲示することにより理解を求めます。

ウ. 事業展開への具体的反映

事業者が一方的に計画立案するだけでなく、事業によっては、事業組み立ての段階から、運営委員会をたちあげ、地域住民等を巻き込みます。事業立案そのものも事業の中

に組み込んで計画してゆきます。

(5). ニーズ対応費の使途について

ニーズ対応費は、市民の自主的な活動を応援するために、設備・備品等を整備するお金です。緊急での使用以外は、地区センターの趣旨に沿っているかどうか、その持ち込まれたニーズが賛同を得られるかどうかを調査し、適切に使用します。また、地区センターの利用状態を考慮した優先順位をつけ、計画的な利用を行います。優先順位は「現在使用しているもので、更新が必要な物」「設備の緊急修繕」「新規ニーズ対応への備品購入」の順とし、「新規ニーズ対応への備品購入」に関しては、地区センター委員会にかけて執行します。

(6). 個人や団体に対する相談、調整、助言等について

悩みや勉強等の相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障害者が安心して利用できる「サービス介助」を実施するために、清光社教育プログラムに基づく社内外講習・資格取得・多様な施設間交流講習・効果測定を実施します。

団体においては、自主的な活動及び相談、広報支援を行い、幅広い活動のサポートを行うとともに、地区センターで実施する自主事業を協働で行い、一体となって地区センターを盛り上げます。また、地域住民のニーズに対応した自主事業を開催することにより、新たなコミュニティ創造の可能性を高めます。このため、計画した自主事業を、その時点でのニーズに対応するために適宜変更し、より効果的に実施します。

(7). その他利用者サービス向上の取り組みについて

地区センターの機能及び利用者の利便性を向上させるイベントやサービスを、「オリブ工房」「中図書館」と協働で実施することにより、地区センターの利用促進及び地域課題の解決を行います。また、「できることから始めよう」を合言葉に、地区センターから社会貢献活動の発信、アウトリーチ活動の実施により、地域交流を深めます。

4. 施設の維持管理計画

4. 施設の維持管理計画

「便利で楽しめる『利用者サービス』」、「何度も足を運び、笑顔がこぼれる『ホスピタリティサービス』」、「快適に施設を利用できる『快適な空間の創造』」を軸に利用促進活動を展開し、人が自然と集まり、会話がはずむような、地域のシンボルとなる地区センターを目指します。また、本牧地区センターの利用統計を参照し、稼働率が低い部屋及び時間帯、時期の分析を行い、利用率向上のための利用者サービスを地域の方々の同意をもとに、順次実施してまいります。

(1). 施設の効率的な運営のための計画について

3つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】の手法とP D C Aを活用したスパイラルアップを図り、継続的な業務改善実施と管理運營業務の効率化・効果の最大化を図ります。

(2). 施設の維持管理について

「快適であり」「安全であり」かつ「安心である」環境を提供するために、常に利用者の視点に立ち、高齢者や障害者等の利用も考慮し、「ノーマライゼーション」を意識した維持管理を行うことを軸に、「快適な空間の創造」を目指します。

中図書館との連絡調整を密にした施設管理を「維持管理業務一覧」に則して実施し、予防保全の観点から日常巡視や定期巡視の実施により施設の長寿命化を図るとともに、危険箇所の特定制、リスク分析、改善を行います。

修繕に関しては、必要箇所の特定制による一覧表を作成し、緊急性や安全性、利便性、快適性を考慮して計画的に実施します。

維持管理業務一覧(本牧地区センター)

	業務	内容	頻度	分担	根拠
電気・機械設備	建物設備維持管理	包括管理・運転監視・日常巡視点検	毎日	※	
	設備総合巡視点検	設備巡視点検	1回/月	※	
	電気設備点検(高圧受電以上)	巡視点検	1回/月	※	電気事業法上の電気主任技術者業務
		定期点検	1回/年	※	関東電気保安協会等による委託
	非常用発電機点検	定期点検	2回/年	※	消防法上、電気事業法上の点検 専門メンテナンス業者による委託
	中央監視装置点検	定期点検	1回/年	※	規模の大きな施設の場合の監視制御装置の専門メンテナンス業者による委託
	空調自動制御点検	定期点検	2回/年	※	空調自動制御の専門メンテナンス
	空調設備点検	巡視点検	1回/月	※	巡視点検 フィルターの清掃 設備巡視点検業者
		定期点検	2回/年	※	夏冬切替 空調の専門メンテナンス
		熱源機器等点検	定期点検	2回/年	※
衛生管理	建築設備	定期点検	1回/年	※	建築基準法第12条に基づくもの
	受水槽高架水槽清掃	定期清掃	1回/年	※	水道法及びビル管理法により
	飲料水水質検査	検査	2回/年	※	ビル管理法により その他大腸菌検査(1回/2月)
	残留塩素検査	検査	1回/週	※	ビル管理法により
	空気環境測定	測定	1回/2月	※	ビル管理法により
	害虫駆除		2回/年	※	ビル管理法により
	汚水槽・雑排水清掃	定期清掃	2回/年	※	ビル管理法により
	ウォータークーラー	水質検査	1回/年	○	健康福祉局より指導
	レジオネラ菌分析	水質検査	1回/年	※	健康福祉局より指導 冷却塔の水質検査
	グリストラップ等の清掃	定期清掃	4回/年	○	厨房などの排水設備の清掃
建物等	建築設備	定期点検	1回/年	※	建築基準法第12条に基づくもの
	消防用設備点検	定期点検	2回/年	※	消防法上の点検・消火器の詰替え(1回/5年) 消防設備点検資格業者による点検
	防火対象物定期点検	定期点検	1回/年	※	消防法第8条の2の2に基づくもの
	放送設備点検	定期点検	1回/年	※	放送設備の専門メンテナンス
	ガス監視装置点検	定期点検	1回/年	※	ガス漏れ警報機の専門メンテナンス
	電話交換機点検	定期点検	1回/月	※	交換機の専門メンテナンス、電話も含む
	昇降機点検	定期点検	1回/月	※	法令点検 エレベーター・エスカレーター等の専門メンテナンス業者による委託
		定期点検	1回/年	※	建築基準法第12条に基づくもの
	自動ドア点検	定期点検	4回/年	※	自動ドアの専門メンテナンス
	監視カメラ点検	定期点検	1回/年	○	監視カメラの専門メンテナンス
舞台音響設備点検	定期点検	2回/年	○	音響装置の専門メンテナンス	
舞台設備点検	定期点検	2回/年	○	舞台設備(照明・緞帳等)の専門メンテナンス	
非常通報装置点検	定期点検	2回/年	※	装置の専門メンテナンス	
機械警備点検		常時	※	夜間時や休庁時の警備を自動通報装置にて警備会社へ連絡する	
建築物建物点検	定期点検	1回/3年	※	建築基準法第12条に基づくもの 敷地、構造に関する定期点検	
清掃等	清掃業務	日常清掃	毎日	○	場内、庁舎内の清掃、ガラス清掃、外溝・排水ます清掃
		定期清掃	1回/月	※	照明器具清掃
	植栽剪定・草刈		2回/年	※	剪定・除草
	小破修繕		随時	○	

- * 上記点検以外に施設に特種な設備がある場合は必要に応じて点検を行う。
- * 点検回数は法的制約以外は目安であり施設規模や機器によって異なる。
- * ビル管理法については特定建築物(3,000㎡以上)に該当する。
- * 分担欄の※印は原則中図書館(教育委員会)所管。

横浜市本牧地区センター 自主事業計画書(総括)

平成23年度

	事業名	①募集対象	④実施時期	自主事業予算額					
		②募集人員	⑤回数	総経費	収入		支出		
		③一人当たりの参加費			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
1	地元発見散歩	一般	5月、10月	27,000	11,000	16,000	6,000	16,000	5,000
		40	2回						
2	マイクッキング	一般	6月から	200,000	0	200,000	100,000	100,000	0
		20	10回						
3	～日本の年中行事～ 年中行事と行事食	一般	6月から	178,000	28,000	150,000	88,000	90,000	0
		15	11回						
4	シルバーエイジ革命	一般	6月から	200,000	0	200,000	100,000	100,000	0
		20	12回						
5	本牧メンズスタイル	一般	5月から	170,000	20,000	150,000	80,000	90,000	0
		15	12回						
6	手作り簡単オヤツ	一般	9月～12月	94,000	54,000	40,000	64,000	30,000	0
		80	4回						
7	食事で健康管理	一般	1月～3月	93,000	63,000	30,000	48,000	45,000	0
		20	3回						
8	異文化交流ステーション	一般	7月～2月	48,000	28,000	20,000	46,000	2,000	0
		20	6回						
9	ボディコンディショニング Aコース	一般	5月から	135,000	10,000	125,000	110,000	0	25,000
		250	11回						
10	ボディコンディショニング Bコース	一般	5月から	135,000	10,000	125,000	110,000	0	25,000
		250	11回						
11	俳優さんから学ぶ 会話術と心理学	中学生以上	7月～8月	80,000	50,000	30,000	60,000	20,000	0
		30	3回						
12	ボイストレーニング	一般	1月～3月	63,000	3,000	60,000	45,000	18,000	0
		20	3回						
13	伝統継承プログラム カルチャー編	一般	6月～	168,000	78,000	90,000	72,000	96,000	0
		45	12回						
14	伝統継承プログラム マナー編	一般	9月～	140,000	20,000	120,000	80,000	60,000	0
		40	12回						
15	プロから学ぶテクニック	一般	9月、12月	41,000	9,000	32,000	5,000	36,000	0
		40	2回						
16	ライフスタイルアップ ステーション	一般	10月～3月	160,000	0	160,000	60,000	80,000	20,000
		20	4回						
17	子育て支援I 「絵本の読み聞かせ」	幼児と保護者	6月から	30,000	30,000	0	30,000	0	0
		12	10回						
18	リトミックくらぶ	幼児と保護者	奇数月	52,000	7,000	45,000	42,000	0	10,000
		90	6回						
19	絵本フェスティバル	一般	7月	30,000	16,000	14,000	16,000	8,000	6,000
		20	2回						
20	まいまいの人形劇	未就園児と親	7月、12月	16,000	16,000	0	10,000	6,000	0
		30	2回						
21	こぐまのへや	未就園児と親	4月から	34,000	34,000	0	24,000	10,000	0
		20	12回						
22	ママと一緒に 英語の世界	未就園児と親	6月、9月、 1月	36,000	21,000	15,000	30,000	6,000	0
		10	3回						
23	一時託児	子連れの親	6月から	140,000	80,000	60,000	0	0	140,000
		120	10回						
24	わんぱく事業6月 父の日のプレゼント	小学生	6月	17,000	17,000	0	7,000	10,000	0
		20	1回						
25	連続わんぱく事業 ヒマワリを育てよう	小学生	6月～7月	12,000	3,000	9,000	7,000	5,000	0
		30	2回						
26	わんぱく事業7月 [七夕飾りを飾ろう]	小中学生	7月	27,000	27,000	0	7,000	20,000	0
		20	1回						
27	夏・冬・春休み期間 事業	小中学生	8月、3月	36,000	28,000	8,000	20,000	16,000	0
		40	2回						
28	わんぱく事業9月 おじいちゃんおばあちゃんの 似顔絵を描く	小学生	9月	15,000	15,000	0	5,000	10,000	0
		20	1回						
29	本牧ハロウィン	小学生以下	10月	40,000	20,000	20,000	0	40,000	0
		200	1回						
30	ポーセリンでマイカップ・ マイお茶碗作り	小学生と親	8月	28,000	18,000	10,000	8,000	20,000	0
		20	1回						

横浜市本牧地区センター 自主事業計画書(総括)

平成23年度

	事業名	①募集対象	④実施時期	自主事業予算額					
		②募集人員		総経費	収入		支出		
		③一人当たりの参加費			⑤回数	委託料	参加費	講師謝金	材料費
31	出張講座 地元企業による出張講座	小学生と親 80 0	9月、12月、 3月 3回	8,000	8,000	0	0	8,000	0
32	キッズスクール (児童向け防犯講習)	小学生以下 60 0	9月 2回	20,000	20,000	0	14,000	6,000	0
33	パパママと一緒に キャラクターランチ作り	幼児と保護者 40 1,500	9月、12月、 3月 3回	60,000	0	60,000	15,000	30,000	15,000
34	わんぱく事業10月 本に親しむ	小学生 20 0	10月 1回	17,000	17,000	0	7,000	10,000	0
35	わんぱく事業11月 食文化を学ぶ	小中学生 20 500	11月 1回	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0
36	子どもドッジボール大会	小学生 50 0	11月 1回	28,000	28,000	0	10,000	10,000	8,000
37	わんぱく事業12月 クリスマスイルミネーションを作る	小中学生 20 500	12月 1回	27,000	17,000	10,000	7,000	20,000	0
38	わんぱく事業1月 書き初め教室	小学生 20 300	1月 1回	27,000	21,000	6,000	7,000	20,000	0
39	わんぱく事業2月 バレンタインチョコを作る	小学生 20 500	2月 1回	22,000	12,000	10,000	10,000	12,000	0
40	わんぱく事業3月 ホワイトデーのクッキーを作る	小学生 20 500	3月 1回	22,000	12,000	10,000	10,000	12,000	0
41	子どものシグナル	一般 50 0	6月 1回	25,000	25,000	0	15,000	10,000	0
42	老人ホーム訪問事業	一般 15 0	6月、9月、 1月 3回	50,000	50,000	0	10,000	30,000	10,000
43	おもちゃの病院	幼児～小学生 30 0	8月 1回	12,000	12,000	0	7,000	0	5,000
44	本牧防犯コンサート	一般 50 0	11月 1回	10,000	10,000	0	0	0	10,000
45	クリスマスコンサート	幼児～大人 100 0	12月 1回	60,000	60,000	0	50,000	0	10,000
46	クリスマス舞台公演	幼児～大人 200 0	12月 1回	130,000	130,000	0	50,000	50,000	30,000
47	本牧フリーマーケット	一般 100 100	3月 1回	20,000	10,000	10,000	0	20,000	0
	合計			3,003,000	1,158,000	1,845,000	1,502,000	1,182,000	319,000

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書(単表:内容)

23年度は下記のコンセプトに基づき事業計画を立案致しました。

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| ① 一般事業 | どなたでも参加出来、地域の方から要望が多く趣味や健康、料理に関する企画 |
| ② 子育て支援 | 子育て親子の地域参加企画 |
| ③ わんぱく事業 | 小学生対象。親子で参加できる企画も計画。 |
| ④ 地域と施設を結ぶ事業 | この施設を知るためのきっかけになるよう足を運んでもらう企画 |

① 一般事業

No.	事業名	目的・内容	実施時期・回数
1	地元発見散歩	本牧地区及び中区を散策し、本牧を中心に中区の歴史や地形を学びます。また、地域の住人の交流の場を設けます。内容:「中区公園ウォッチング」他6回に分けて、本牧中区地区を散策し、歴史、形、地域の商店街、名物、名所などを楽しみながら歩きます。新規住人の方にもわかりやすいように資料を作成し、地域交流がスムーズにいくように工夫します。	5月,10月 2回
2	マイクッキング	通常の料理教室ではなく、参加者の独自性・協調性を生かした料理教室を開催。参加者自身がテーマ料理を企画することにより参加者の積極性を引き出すとともに、地域に求められるチームプレーを磨きます。また、積極性と協調性を持った「独創的なサークル」の創出を目指します。内容:「野菜ソムリエ入門」など、月毎に、旬のテーマ決定し、テーマに沿って、参加者独自の料理を協力して作成します。	6月から 10回
3	～日本の年中行事～ 年中行事と行事食	日本では昔から暦に沿って様々な行事が行われてきました。日々の暮らしの中で営まれてきた様々な行事とその際に食べられてきた食事、食材について知己を深め、生活と密接な関係のある季節の恵みを味わい、健康と家庭の絆を深めます。また、折々の旬の野菜や台所の活用術などちょっとした豆知識を学びます。	6月～3月 11回
4	シルバーエイジ革命 輝けるシルバーエイジへ	シルバー世代といわれる高齢者及び高齢予備軍対象事業。年齢だからとあきらめるのではなく、経験を重ねた者だからこそできる自分に自信をもってもらい、また新たな事にもチャレンジしていただく。パソコン教室他様々な学習プログラムを展開します。	6月～3月 12回
5	本牧メンズスタイル	若年からリタイア組まで含め、「女のすなる〇〇をしてみんと」原則料理体験を中心に、男性が体験してみたい様々な仕事以外の家庭体験を参加者自ら企画して進めます。マイクッキングは参加者全員で始めていきますが、こちらは先に運営委員のような中心メンバーを募集し企画立案して事業展開をはかります。	5月から 12回
6	手作り簡単オヤツ	時間があまりかからず、失敗も少ない、おうちでも簡単に作れる幼児向け簡単おやつをつくります。先生からのレシピの他、参加するママさんからのレシピ交換も行い、交流促進を図ります。お子さんはプレイルームでいっぱい遊んだ後、ママの作ったおやつを美味しくいただきます。	9月から 4回
7	食事で健康管理	そろそろ健康が気になってくる方向けに、地域の栄養グループが提案する、栄養のバランスを考慮した料理を作ります。少量で沢山の種類を楽しんでいただきます。沢山作ってしまった時の保存方法豆知識等の意見交換も行い、交流促進を図ります。	1月から 3回
8	異文化交流ステーション	運営委員をつくり、韓国語や、中国語の初心者体験講座を開催したり、花見や日本文化の体験イベントを企画したりして、文化や考え方の違う他者から学んだり、他者へ自分の考えを発信する場を創出します。国際都市横浜として、区民の方の国際交流の支援を行います。神奈川国際学生会館等に居住の留学生と区民の交流を図ります。	7月～2月 6回
9	ボディーコンディショニング Aコース	健康が気になるというニーズに対応して、大勢で定期的に運動をする機会を作り、基礎体力の向上や参加者同士の交流を深め、団体行動に伴う運動習慣の定着を目的に行います。内容: マットを使用し、ゆっくりと身体のバランスを整える健康体操を実施します。	5月から 11回
10	ボディーコンディショニング Bコース	健康が気になるというニーズに対応して、みんなで定期的に運動をする機会を作り、基礎体力の向上や参加者同士の交流を深め、団体行動に伴う運動習慣の定着を目的に行います。初心者でも気軽にできるエアロビクスにヨガの要素を加えた運動を実施します。ウォーミングアップからクールダウンまで1時間10分の運動を実施します。	5月から 11回

11	俳優さんから学ぶ 会話術と心理学	俳優の基礎トレーニングでもある五感を鍛えるトレーニングをベースに普段忘れかけている感性を磨く。感性豊かな感情から生まれる人への思いやりや人の優しさを探求する講座。ミュージカル等で活躍中の俳優さんをお迎えして体験談を交えて楽しい雰囲気の中で学ぶ。	7月～8月 3回
12	ボイストレーニング	喉や体に負担がかからないように、姿勢を良くして体全体のバランスを保ち、楽しく歌うための発声方法を学びます。軽くストレッチの後、腹式呼吸などの基本練習、歌える身体(喉)作りを中心に行います。	1月～3月 3回
13	伝統継承プログラム カルチャー編	生け花や茶道、書道といった伝統文化伝承のサイクル作りの一助を目的として、伝統文化の成り立ち歴史等に興味を持って頂き、生け花教室、茶道教室、書道教室、等に気軽に触れて頂きます。	6月から 各教室 4回程度
14	伝統継承プログラム マナー編	日本人なら知っておきたい、今更誰かに聞きづらい、日本のしきたりやマナー等の素朴な疑問に答えます。冠婚葬祭、日本のしきたりと文化、着付け等多岐にわたる内容の他、参加者からの要望を取り入れた内容を盛り込みます。	9月から 各6回程度
15	プロから学ぶテクニック	生涯学習の一環として、家庭生活環境を向上させる為の専門技術を身につけて頂きます。プロからのノウハウを活かし、家庭で実践できる美観テクニック等を専門家に実演して頂き、体験して頂きます。今年は9月に「壁紙貼り替え実践講座」、12月に「年末お掃除テクニック実践講座」を開催します。	9月と12月 各1回
16	ライフスタイルアップ ステーション	テーブルコーディネート講座、フラワーアレンジメント講座、ファイナンシャルプランニング講座、エコライフプログラム他、家庭生活をうるおす講座の開催	10月～3月 各4回程度

②子育て支援

17	子育て支援I 「絵本の読み聞かせ」	絵本等の読み聞かせによって、母と子の楽しい時間を共有するとともに、乳幼児及びママ同士の交流の場を提供し、育児不安を取り除きます。プレイルームにおいて、絵本等の読み聞かせや、簡単な親子の運動などを行います。	6月から 10回
18	リズムくらぶ	親子で体を動かし、楽しい時間を共有することにより、親子の絆を強くし、育児不安を解消します。 内容：プレイルームにおいて、親子でリズムに合わせて、簡単な踊りを一緒に踊ります。	奇数月 6回
19	絵本フェスティバル	山手西洋館、中図書館その他中区の施設が連携して絵本を展示したり、講演会、読み聞かせ等関連事業を展開します。	7月 2回
20	まいまいの人形劇	人形劇を観賞し、感受性を豊かにするとともに、ボランティアサークルの活動を支援します。「人形劇サークルまいまい」による人形劇の上演し、わらべ歌を歌ったり、人形ダンスを演じます。また、人形にさわるコーナーを設けて、子どもたちとふれあいます。	7月、12月 2回
21	こぐまのへや	幼児期の子供に表現力や想像力を養っていただきます。また、親子の世代間交流も深めていただきます。「お話し、手遊び、パネルシアター」を、子育て支援グループの協力で行います。	4月から 12回
22	ママと一緒に 英語の世界	1歳半～2歳児の親子を対象に、音やリズムを通して英語に親しむ機会と、地域の仲間作りのきっかけを作ります。日本語を介さず、英語を自然に身につけていきます。2・3歳児が日常使う英語表現を題材に、「音」「リズム」を通し、子どもが持つ五感をフルに活かして英語に親しんでいただきます。	6月、9月、1月 3回
23	一時託児	子どもがいて自主事業に参加できないという保護者の方を対象に、安心して自主事業に参加していただけるよう、一時託児を実施し、母子の社会参加の機会の創出を図ります。月に12名程度を上限に、お子様をお預かりいたします。子育て支援ネットワークの保育士の方の派遣を想定しています。	6月から 10回

③ わんぱく事業

24	わんぱく事業6月 父の日のプレゼント	父の日に、一家の天黒柱であるおとうさんを敬う気持ちと、感謝の気持ちを伝える機会を提供します。絵画の先生を招聘し、子ども達に持参したお父さんの写真を参考に似顔絵を描いて頂きます。自作のメッセージカードを添えてお父さんに感謝の気持ちを伝えて頂きます。	6月に1回
25	連続わんぱく事業 ヒマワリを育てよう	夏の代表花である「ひまわり」の成長過程を記録しながら、植物の育て方や大切さを学びます。ミニ鉢植えにひまわりの種をまき、植物の育て方を学ぶとともに、大輪を咲かせた後の種の採取までの記録を行います。	6月～7月 2回
26	わんぱく事業7月 [七夕でつながる時代のかげ はし]	老人ホーム等へ出張し、七夕の笹を設置し、利用者と一緒に、飾りつけや願い事の短冊などを取り付けを行った後、手作りお菓子でお茶会とおしゃべりを楽しんだり、お手玉等の昔の遊具で遊んでもらいます。	7月に1回
27	夏・冬・春休み期間事業	親子の自由工作、昔懐かしい子供の遊び道具作り、科学・自然の持つ楽しさや遊びを提供し、自由研究をテーマにできる様な場面作りを提供します。	8月、3月 2回
28	わんぱく事業9月 おじいちゃんおばあちゃんの 似顔絵を描く	敬老の日に、大好きなおじいちゃんおばあちゃんに感謝の意と長生きしてほしいという気持ちを伝える機会を提供します。また、老人ホームへも出向き、入所者の方との交流も行います。クレヨンや色鉛筆、絵の具等を使用し、おじいちゃんやおばあちゃんへ、メッセージ入り似顔絵を描き、プレゼントします。	9月に1回
29	本牧ハロウィン	10月31日ハロウィンの夕方に、仮装した子どもたちを集め、「トリック・オア・トリート」を合言葉に、仮装したスタッフからお菓子をもらいます。地区センター近隣の住宅に協力して頂き、仮装した子供たちに、お菓子を渡して頂きます。	10月に1回
30	ポーセリンでマイカップ・マイ お茶碗作り	白い陶器に転写紙の絵柄を貼り付けて焼き付けます。自分でデザインしたオリジナルマイカップとお茶碗作りをします。夏休みの作品にもなります。	8月に1回
31	出張講座 地元企業による出張講座	地元企業が社会貢献活動の一環として実施している食育啓蒙活動をサポートするとともに、地域住民の方に食育について真剣に考える場を提供し、取り組みきっかけを創ります。地元企業が研究を重ねた馴染み深い食材について、栄養価や作成工程等を分かりやすく講義します。	9月、12月、3月 3回
32	キッズスクール (児童向け防犯講習)	消防署及び自治会の方々を講師に招き、実際に防犯ベル等を使用した講義を実施します。また、こども110番の家等も交え、緊急時のかけこみ場所を知っていただきます。	9月に2回
33	パパママ一緒にキャ ラクターランチ作り	キャラクター弁当が得意な地元の主婦を公募し、交代で講師をお願いし、独自のレシピの発表及び講義を実施します。サークル活動への発展をサポートし、地域コミュニティーの創出を目指します。人気のキャラクター弁当(子どもの似顔絵・人気アニメキャラクター等)を、親子で楽しく協力して調理します。	9月、12月、3月 3回
34	わんぱく事業10月 本に親しむ	読書の秋にちなんで様々な本に触れ合っただき、読書習慣の定着を推進します。図書コーナーにある本をどれだけ沢山読めるかのスタンプラリーを行います。期間中本を借りた人に台紙を渡し、本を一冊借りるごとにスタンプを押していき、スタンプが溜まったら賞品を贈呈します	10月に1回
35	わんぱく事業11月 食文化を学ぶ	日本の食文化である和食の食事マナーや盛り付け作法等の基本を通して、栄養のバランスを考える機会や台所の手伝いをするきっかけ作りを行います。和食の定番メニューの焼き魚、味噌汁、白米を調理し、「もりつけ方」「箸の使い方」などを覚えながら、和食の素晴らしさを感じ、食の大切さを学びます。	11月に1回
36	子どもドッジボール大会	ドッジボールを通して、スポーツのマナーやチームワークの大切さを感じて、友達の輪を広げて頂きます。区内の各子ども会から年少の部、年長の部のチームが参加し、ドッジボール大会を開催します。	11月に1回

37	わんぱく事業12月 クリスマスイルミネーションを作る	みんなで協力して、もみの木に飾り付けを行い、クリスマスツリーを完成させるクリスマスイベントを実施します。クリスマスイベントを実施することにより、地区センターを身近に感じて頂きます。地区センターにもみの木を設置し、子どもたちの手作りの装飾品を飾ります。自分の飾り付けをしたモミの木を背景に記念撮影をしたり、クリスマスの歌を歌ったり、楽しい時を過ごします。	12月に1回
38	わんぱく事業1月 書き初め教室	和室で正座をすることや、物を書くという事の大切さを知って頂くことにより、文字の成り立ちや歴史に触れて頂きます。先生のお手本を基に「今年の干支」の書き初めをして頂き、出来上がった作品は地区センターに展示します。	1月に1回
39	わんぱく事業2月 バレンタインチョコを作る	市販とは違う、貰って嬉しい手作りチョコの作り方を習得し、ご家庭で様々な種類のチョコを作る際の参考にしていただきます。ご家庭で創意工夫をする為の基本となるチョコをみんなで楽しく作り、手作りパッケージで包装します。またチョコのバリエーションの紹介やレシピを覚えていただきます	2月に1回
40	わんぱく事業3月 ホワイトデーのクッキーを作る	市販とは違う、貰って嬉しい手作りクッキーの作り方を覚え、ご家庭で様々な種類のクッキーを作る際の参考にしていただきます。ご家庭で創意工夫をする為の基本となるクッキーをみんなで楽しく作り、手作りパッケージで包装します。またクッキーのバリエーションの紹介やレシピを学びます。	3月に1回

④ 地域と施設を結ぶ事業

41	子どものシグナル	青少年の健全な育成に不安を感じている方に、少年たちの出す様々なシグナルの受け止め方、「家庭、学校、地域」の連携のきっかけ、教育についてのヒントを得ていただきます。青少年指導員や児童委員に子どもへの接し方、叱り方をテーマに講演を行って頂いたあと、相談会を行います。	6月に1回
42	老人ホーム訪問事業	外出が困難な高齢者の方のために、出前授業を行い、ふれあいの場を創出します。内容：横浜市健康福祉局、地域福祉団体等と連携し、定期的に老人ホーム「本牧ホーム」等に出張し、フラワーアレンジメント教室を開催します。	6月、9月、1月 3回
43	おもちゃの病院	物の仕組みを知ることにより、物づくりのすばらしさや難しさを理解し、物を大事にする心を育みます。ボランティアがおもちゃの壊れた箇所や理由を質問し、幼児から小学生が使うおもちゃを無料で修理します。その場で修理できないものはお預かりして、後日、地区センターで修理した物を返却します。修理は「中区おもちゃのドクターネットワーク」にご協力頂きます	8月に1回
44	本牧防犯コンサート	地域住民の防犯意識向上のためのコンサートを開催します。山手警察の協力を仰ぎ、県警音楽隊とカラーガードによる防犯意識向上コンサートを開催します。	11月に1回
45	クリスマスコンサート	ゆっくりと音楽を聴く機会のない方に、クリスマスJazzライブを開催し、穏やかに夕べを過ごしていただきます。クリスマスの夕べに、Jazzライブを開催します。	12月に1回
46	クリスマス舞台公演	地域の方々に感動の舞台をお届けする俳優五代高之さん率いる「五代塾」によるクリスマス向け舞台公演。地区センターという構造上難しい場所で、より本格的に近い舞台を実現させる「五代塾」。その実績には再演を願う声もたくさん寄せられています。昨年の地方公演でも五代さんの脚本演出の舞台がたくさんの方々に感動を与え、称賛の声が後を絶ちませんでした。その感動の舞台を地域の皆様の身近なセンターで堪能していただきます。	12月に1回
47	本牧フリーマーケット	地域住民の自主的な活動の場として、フリーマーケットを開催し、販売のやり取りや会話を通して、地域交流を深めます。内容：体育室に30の販売ブースを設置し、販売希望者を公募します。また、当日の来館者数を確保する為に、連携団体による目玉イベントの開催や広報をお願いします。	3月に1回